

科目名 Course Name	ファッションビジネス Fashion business			ナンバリング No.	C1-011		
年次	1年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	飯塚 晃代						
連絡方法	C-Learning で対応。または栄養棟3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2,DP3,DP5						
授業の概要と到達目標	ファッションビジネスの基礎①製品、商品企画、素材、製造、販売、流通を理解できるようにする。②MD,VMD などの職種や業種の専門用語とその内容について知識を深めるようにする。③生活者のライフスタイルについて理解を深めることができる。						
授業の方法	授業プリントに従って、レポート作成、グループワークなどを加えながら授業を進める。①ファッションビジネスの仕事、商品知識 ②現代服の成り立ちとその変遷、流行などについて学ぶ。③職種と業種、ファッションビジネスの仕組みと構造 ④マーケティングの基礎知識、ブランド調査 ⑤SNS を利用した最新のマーケティング、AI マーケティング ⑥生活者のクラスター分析を行う ⑦ギフトの一般知識と技術を習得する ⑧ディスプレイ調査、研究 ⑨企業探究(ブランドコンセプト、商品企画、企業の強み、販促の取組、EC 化の現状と課題、SDGs の取組等)グループワーク、校外授業を実施する。⑩発表(プレゼンテーション)、講評。資料・レポートの提出						
学習成果	L01						
	L02	ファッションと生活との関係について理解することができる。 ファッション商品と仕事を理解することができる。					
	L03	ファッションビジネスでは企業側(主にアパレル側)は、その時の生活者(消費者)の要求をくみとり、快適な生活を創造するための商品やサービスを提供するという仕組みを理解することができる。現代の企業の販売戦略等を理解することができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	レポート等提出物は速やかに講評し、掲示したり協働板で共有したりする。						
教科書/参考図書	授業内プリント配布 参考図書:ファッションビジネス I・II 能力検定試験3, 2 級準拠 及び 項目別試験問題(財)日本ファッション教育振興協会他						
履修上の留意点やルール等	●レポート等提出物の期限厳守 ●プリントを綴るファイルを用意すること。 ●日頃からファッションビジネスに関心を持ち、積極的に授業参加すること。 ●事前・事後に費やすべき時間の目安はおおむね各回 180 分						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	欠席・遅刻がなく意欲的に授業参加する。また、分かりにくい点があれば積極的に質問する。		10		
レポート/作品	レポートについて、課題の内容を適切に調査、考察できているか、成果や感想が的確に述べられているかを評価する。授業ノートを綴りごとに提出させ、理解度を測る。いずれも期限を過ぎた場合は減点する。		30		
発表					
小テスト					
試験	ファッションビジネスの知識・技術が理解されたか、評価する。			40	
その他	企業探究の事前研究から校外学習までの取り組みを評価する。			20	
合計			40	60	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、ファッションとファッションビジネスの基礎知識、ファッションビジネスの変遷（繊維産業の歴史、1960年以降の日本のファッションビジネス）を理解する。
	事前・事後学習	日頃からファッションビジネスに関心を持ち、情報を収集するよう心がける。
2	授業内容	ファッション業界の職種と業務内容（企画、デザイナー、生産現場、販売、販促、VMD、流通等） ※ファッション業界で最も関心を持った職種について調べる。（業務内容、必要な能力、目指すためのキャリアプラン等）【レポート】
	事前・事後学習	レポートを完成させる。
3	授業内容	ファッションの歴史（日本）
	事前・事後学習	ファッションの歴史に関心を持ち、調べたり美術館に足を運んだりする。
4	授業内容	ファッションの歴史（世界）
	事前・事後学習	ファッションの歴史に関心を持ち、調べたり美術館に足を運んだりする。
5	授業内容	今日のファッションビジネスの動向 ①ファッションの進化と消費者 ②グローバル化 ③環境とファッションビジネス ※グローバル化や環境に配慮した企業の取組を調べる。【レポート】
	事前・事後学習	レポートを完成させる。
6	授業内容	今日のファッションビジネスの動向 ④インターネット、SNS活用 ※アパレル EC サイトの種類と特徴について調べる。【レポート】 ファッション小売業と業態ごとの特徴 ファッション販売の仕事と接客技術の基本
	事前・事後学習	レポートを完成させる。
7	授業内容	ファッションマーケティングの基礎知識、ブランドのマーケティング戦略（SWOT分析等） 企業探究（近隣商圈、ブランドの調査、市場分析）のグループ編成と分担
	事前・事後学習	企業探究で調べる企業について、情報を収集する。
8	授業内容	企業探究 レポート・プレゼン作成（ブランドコンセプト、商品企画、企業の強み、販促の取組、EC化の現状と課題、SDGsの取組等）【レポート・プレゼン（個人作業）】
	事前・事後学習	各自分担した項目について、レポート・プレゼン作成を進める。
9	授業内容	企業探究 レポート・プレゼンをグループでまとめ提出【レポート・プレゼン（グループワーク）】
	事前・事後学習	レポート・プレゼンをグループで完成させる。次時の発表のための準備
10	授業内容	企業探究 発表 グループでまとめたプレゼン資料をもとに担当の部分を発表する。 他のグループの発表から他企業について学び、考察する。【他者評価 レポート】
	事前・事後学習	発表記録レポートを完成させる。
11	授業内容	ディスプレイの基礎知識 ビジュアル・マーチャンドアイジング（VMD）とマーケティング効果について MPS（VP・PP・IP）の役割と色彩の使い方等
	事前・事後学習	商品演出と商品陳列について関心を持ち、実際の店舗の例を収集する。
12	授業内容	企業探究校外授業 近隣商業施設にて講話及び施設見学を実施する。 講話内容をまとめ、考察する。【レポート】
	事前・事後学習	事前には、企業戦略等に関する質問事項を考える。事後はレポートを完成させる。
13	授業内容	ファッション造形知識1 ①アパレルアイテムの知識 ②シルエットの知識 ③ディテールの知識
	事前・事後学習	造形知識について、ファッションビジネス検定問題を解く。
14	授業内容	ファッション造形知識2 ④品質表示・取扱方法の表示 ⑤サイズ表示 ⑥繊維・糸の知識 ⑦服飾雑貨の商品知識
	事前・事後学習	造形知識について、ファッションビジネス検定問題を解く。
15	授業内容	多様なギフトラッピングの種類、方法を習得する。（箱・リボン・ふろしき等）【作品】 講義のまとめ（マーケティングの未来、新たな市場創造等）
	事前・事後学習	折に触れラッピングを実践してみる。プリントを見直して重要事項を再確認する。